

アーツとエコロジーのより良い関係をめざして 大阪芸術大学キャンパス博物館構想の実現化のために

研究年度・期間：平成17年度

研究ディレクター：狩野 忠正
(環境デザイン学科 学科長)

共同研究者：村松秀太郎 (美術学科 学科長)	喜多 俊之 (デザイン学科 学科長)	澤田 良作 (建築学科 学科長)	小池 一夫 (文芸学科 学科長)	岩崎富士男 (放送学科 学科長)
北尾 順三 (写真学科 学科長)	熊谷 皓之 (工芸学科 学科長)	中島 貞夫 (映像学科 学科長)	土居原作郎 (舞台芸術学科 学科長)	相羽 秋夫 (芸術計画学科 学科長)
上原 和夫 (音楽学科 学科長)	北野 完一 (演奏学科・音楽教育学科 学科長)	依田 義右 (一般教養 学科長)	平金 有一 (工芸学科 博物館長)	山縣 熙 (文芸学科 大学院芸術 文化研究科長)
佐野 敬彦 (芸術計画学科 大学院 芸術制作研究科長)	若生 謙二 (環境デザイン学科 教授)	堀内 充 (舞台芸術学科 助教授)	杉本 真一 (建築学科 助教授)	塚本 英邦 (一般教養 講師)

はじめに

21世紀は環境の世紀である。私たちが生きてゆく場である地球環境を守るとりくみは、20世紀後半に語られた理念としての位置をこえて、国家、企業、そして国民一人一人に課せられた具体的な現実の課題として私たちに迫っている。

エコロジーという言葉がメディアに登場するようになって久しい。エコロジーとは、ドイツの動物学者E.ヘッケルが1866年に生み出した、生活の科学を意味する造語Okologieが英語圏で用いられてきたのである。この言葉は1894年になりわが国の生物学者、三好学によって生態学と訳されて広く普及してきた。しかし、近年この言葉は、生態学としての意味をはなれて、エコロジーとして市民権を得、エコ商品、エコデザイン等、環境保護を包括するエコロジー文化をあらわす文化的用語としての位置をしめるようになった。エコロジーはすでに文化としての地位を獲得した。文化としてのエコロジーに時代を切り開く力を与えるのは芸術である。

近年、各地で開催される博覧会においても、エコロジーと向きあいながら、総合芸術としてのアーツを語る作品が多く見られるようになってきている。アーツとエコロジーの関係は、政治、経済から文化、芸術にまで及んでおり、その関係を解くことは時代のテーマでもある。

大阪芸術大学は、アートの専門家がつどい、次代のアーティストを育成する総合芸術大学である。このような時代にあって、造形系、メディア系、音楽系など、本学14学科にわたる全学科の教員が、アーツとエコロジーという時代のテーマに向かって作品をつくりだし、展示を行うことは、内外に強い知的刺激をもたらすものと考えられる。

このような背景のもとに、本研究班では、アーツとエコロジーの融合の視点から、本学の学科の壁をこえた全学科の教員と海外作家による作品展を行い、大阪芸術大学キャンパス博物館構想の実現化を図るために、アーツ アンド エコロジー展 2005を開催した。

1. 「アーツ アンド エコロジー展 2005」の概要

「アーツ アンド エコロジー展 2005」は、2005年、5月16日から29日まで2週間にわたって、大阪芸術大学において開催された。期間中には、本学14学科の教員がアーツとエコロジーというテーマでとりくんだ作品が発表され、またこうしたテーマに挑む海外作家の作品も展示された。芸術情報センター展示ギャラリーや野外広場、体育館前広場には、造形系ならびに海外作家の作品が展示され、AVホール、第一食堂前ロビーでは映像作品が上映された。また芸術情報センターアートホールでは室内楽が奏でられ、第一食堂北の仮設ステージでは、舞踊とともに野外演奏が響き、本学はアーツとエコロジーの問いにつつまれた。

また、期間中、キャンパスで投げかけられた問いにこたえるために、内外の作家、研究者により、5月21日(土)と28日(土)の2回にわたり、フォーラムを行った。フォーラムでは、作品批評とともに、エコロジーとアーツをそれぞれ相互の立場から論じ、テーマについての議論を深めた。

本研究は、次のような体制で行われた。

研究代表者 中島貞夫(映像学科)

ディレクター 狩野忠正(環境デザイン学科)

協同研究者: 村松秀太郎(美術学科) 喜多俊之(デザイン学科) 熊谷皓之、平金有一(工芸学科) 澤田良作、杉本真一(建築学科) 北尾順三(写真学科) 山縣熙(文芸学科) 小池一夫(キャラクター造形学科、文芸学科) 岩崎富士夫(放送学科) 相羽秋夫、佐野敬彦(芸術計画学科) 上原和夫(音楽学科) 北野完一(演奏学科) 依田義右、塚本英邦(教養課程) 若生謙二(環境デザイン学科) 協力: 山下明伸(デザイン学科) 竹垣恵子(工芸学科) 福原成雄(環境デザイン学科) 松下陽子(芸術研究所事務室)

2. 海外作家出品作品

海外作家の作品として次の作家らの作品を芸術情報センター展示ホールにおいて展示した。

バックミンスター・フラー (Buckminster Fuller)

「ウォーター・クラフト・ローイング・ニードル」

「ダイマキション・モーターカー」

ジョン・ケージ (John Cage)

「マルセルについては何も言いたくない」

ナム・ジュン・パイク (Nam June Paik)

「月に吠える」

「フレンチ・クロック」

ヴォルフガング・ライプ (Wolfgang Laib)

「タンポポの花粉」

3. 基調講演・フォーラム

基調講演とフォーラムは、5月21日（土）と28日（土）の二回にわたって行われた。

5月21日には、民族芸術学者の森淳大阪芸術大学名誉教授による「アフリカの大地」、デザイナーで建築家の矢萩喜従郎氏による「全体と部分 意識されるエコロジー」と題する講演が行われ、ここでの問題提起をうけて、フォーラム「地域・民族について」が行われた。フォーラムには、基調講演者の両氏とともに、本学から井関和代工芸学科教授と武村泰宏キャラクター造形学科助教授が加わり、狩野忠正環境デザイン学科長のコーディネーターで行われた。

5月28日には、木村重信兵庫県立美術館長による「ホモ・ファベルの人間観の克服」、また落語家露の都師匠による「風水」と題する講演が行われた。ここでの問題提起をうけて、フォーラム「自然・身体について」が行われた。フォーラムには、基調講演者の両氏とともに、本学科から山縣熙芸術研究所長、相羽秋夫芸術計画学科長が加わり、狩野忠正環境デザイン学科長のコーディネーターで行われた。

5月21日のフォーラムが始まる前には、平金有一博物館長により、河南町在住の小学校低学年の児童らを対象に、染色の実演が工芸学科実習室で行われた。フォーラム終了後、AVホールでは、映像学科の西村朋樹助手による映像作品が発表され、実験ドームでは、音楽学科の上原和夫教授らによる演奏が行われた。また、28日のフォーラム終了後には、AVホールでは、21日と同様に映像学科の西村朋樹助手による映像作品が発表され、アートホールでは、演奏学科の河野正孝教授、住山玖爾子講師による演奏が行われた。

4. 作品展示

学内からは、表1の諸作品が発表された。

5. おわりに

以上のように、本研究で行われたアーツ アンド エコロジー 2005 は、アーツとエコロジーの関係に目を向けて本学の全学科が参加した作品発表展であり、造形系、メディア系、音楽系の専門家が一つのテーマに挑んだ芸術表現のとりくみであった。期間中、キャンパスはアーツとエコロジーを問いかける全14学科からの芸術作品につつまれたのであり、キャンパス博物館は現実のものとなった。

また、アーツ アンド エコロジー 2005 を展開する過程では、学科をこえた教員、学生、職員らの多くの交流が生みだされ、今後の領域間交流にとっての大きな力となった。

本研究の内容は、図録として刊行された「アーツ アンド エコロジー 2005、アーツとエコロジーの新しい関係」（pp.80）に収録されている。

表1 学内出品者とその作品名

民俗	22	井上真希	大学院芸術制作研究科	院生	幻視
	23	上原和夫	音楽学科	教授	メテオラ 2005
		市川 衛	音楽学科	助教	
		檜垣智也	音楽学科	非常勤講師	
	24	内村由紀	工芸学科	非常勤講師	Exist ~ただよう うつわ~
	25	狩野忠正	環境デザイン学科	教授	空間の変様
	26	里中満智子	キャラクター造形学科	教授	女神の予感(天照大神)
	27	柴田崇史	大学院芸術制作研究科	院生	捕らわれのリアル
	28	下休場千秋	環境デザイン学科	助教	アフリカ 王宮の森
	29	村松秀太郎	美術学科	教授	進化と滅亡
	30	森下治郎	演奏学科	教授	パッヘルベル J.Pachelbel テレマン G.P. Telemann
		住山玖爾子	演奏学科	非常勤講師	
	31	山野 宏	工芸学科	助教	From East To West "Stones"
地域	34	岩崎富士男	放送学科	教授	《Rock 'n 'Roll》
	35	柿沼祐太	環境デザイン学科	助教	たま・たま MIDORI
	36	郷力憲治	デザイン学科	非常勤講師	緑をまとう都市
	37	里 博文	写真学科	講師	平安の森・2005
	38	巽 美由紀	工芸学科	非常勤副手	木曜日の夜明け
	39	田端 修	建築学科	教授	ECO ロジCAL な都心
	40	壺井勘也	環境デザイン学科	教授	NIKE (ニケ) 南の風 風力3
	41	永坂嘉光	写真学科	教授	石鎚山
	42	福原成雄	環境デザイン学科	教授	枯山水
	43	南野 馨	工芸学科	非常勤講師	Untitled 0403
	44	宮本佳明	環境デザイン学科	助教	A pack Project
	自然	48	石井武夫	美術学科	教授
49		大橋 勝	芸術計画学科	講師	無題
50		大山幸子	デザイン学科	非常勤講師	a Slice of Life as a Flower
51		河野正孝	演奏学科	教授	オーボエとオルガンのコンチェルト他
		住山玖爾子	演奏学科	非常勤講師	
52		島田光太郎	大学院芸術制作研究科	院生	蛾 No.13
53		高田雄吉	デザイン学科	非常勤講師	Solidgram
54		中塚香奈子	大学院芸術制作研究科	院生	「水田のある風景」
55		中本久美	工芸学科	非常勤副手	蛙
56		夏苅琴可	大学院芸術制作研究科	院生	風の源
57		西村朋樹	大学院芸術制作研究科	非常勤助手	源流回帰
		中島貞夫	映像学科	教授	
58		長谷川政弘	工芸学科	非常勤講師	Lotus Garden
59		平金有一	工芸学科	教授	曙光
60		森川 潔	写真学科	講師	不可視なる存在 Invisible Border
61	森本潤一	デザイン学科	非常勤講師	OPUS-NO19-L	
62	師岡清高	写真学科	教授	めぐる . . .	
身体	66	荒川 透	教養課程	助教	形と自然
		牧 泉	教養課程	教授	
	67	市川 衛	音楽学科	助教	N-E-W-S (2005) Voice of Nature
	68	上山 昌	大学院芸術制作研究科	非常勤助手	my chair
	69	遠藤賢治	キャラクター造形学科	助教	Hentai - Hikou
	70	酒井稚恵	大学院芸術研究科	非常勤助手	The dancers swayed their hips 踊り子たちは腰を振った
	71	高橋善丸	大学院芸術研究科	非常勤講師	ECO2
	72	津幡 智	デザイン学科	助教	circle・triangle・square
		岩倉忠男	デザイン学科	技術職員	
	73	バロン吉元(龍まんじ)	キャラクター造形学科	教授	カブ モノ 傾く者(A)(B)
	74	丸山陽子	大学院芸術制作研究科	院生	繋ぐ
	75	森 和弘	デザイン学科	非常勤講師	Identity I
	76	山本哲三	美術学科	教授	我らビシクレートス
	77	若生謙二	環境デザイン学科	教授	かくれた次元 意識をきめる空間
		杉本真一	建築学科	助教	